

横川 (作図:)

(作図:)

7元沢 1981年8月29日
鳥川一ノ沢 (仮称) I

林道を栞松沢出合まで歩いてから沢に入る。鳥川本流を西・安藤パーティと一緒に鳥川一ノ沢(仮称)出合まで歩く。12:45, 出合着。

一ノ沢(仮称)に入るとすぐ2つの小滝, F1 2.5m, F2 3mがかかり, 先が楽しみなってくる。続いてF3, F4と小さいが次々にあらわれる。沢が逆S字に曲がったところにもF5 4m。ここまでくると水量もだいぶ少くなり源流のようである。小滝, ナメのくり返すなかをなやも登る。F8 8mトイ状を越える。水も無くなってきた。最後の二俣を右に入り, すぐやぶこぎ。20分程で, ふみあとのある尾根に出た。

(記:)

一ノ沢(仮称)出合(12:45) — 尾根(14:35)

7元沢 1981年8月29日
西州(下降) L7

13:40下降開始。20分程下ると沢の源頭に出る。最初は1~3mの小滝が続く。やがて, 10m程の二段滝が出てくるが, フリーで下ることができる。この下も2~5mの滝が連続するが, ザイルは必要なく楽に降りれる。15:45, 二俣。もう沢も終わりに近い。5分程で

13号線の橋下に到着する。

下降開始(13:40)——13号国道(15:50)

新沢左辺

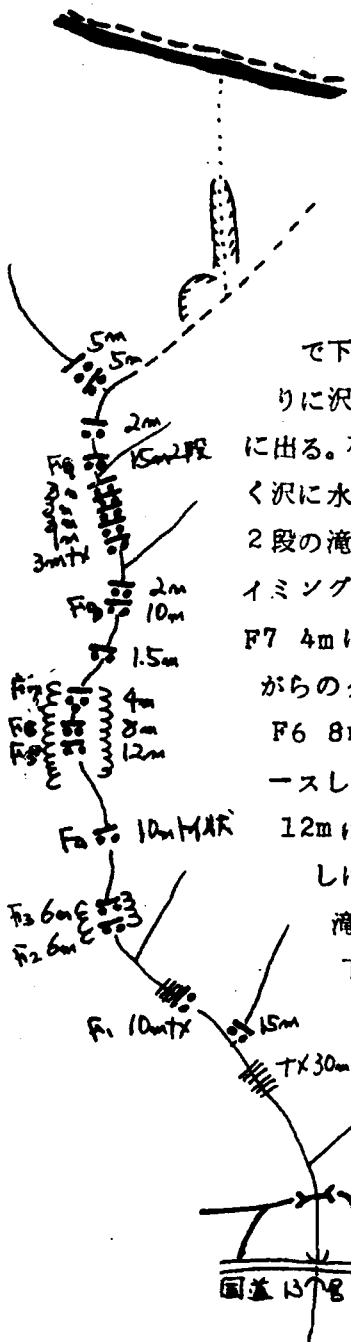
1981年8月29日

三ッ橋沢(仮称)

L

子。

枝並実好



三ッ橋沢(仮称)
(作区)

下降を始めて15分程でガリーになった。これを沢まで下る。沢に降りる所はスラブ状になっており、木をたよりに沢に降り立つ。ガレ石や倒木にうまった沢を下ると二俣に出る。左の方は5m滝が2つある。この二俣になって、ようやく沢に水が出てきた。下りはじめるとすぐ滝が出てくる。15m 2段の滝を除くと、あとは3mほどの小さなもので、すべてクライミングダウンでパス。左岸より小沢が合流した先も滝が続く。

F7 4mは右岸よりを木を伝いながらのクライミングダウン。

F6 8mは左岸よりをトラバースして岩棚を下り、続くF5

12mはそのまま草付を降りた。

しばらく下ってF4 10mナメ

滝。3段になった滝で、上部と下部が右岸よりにカーブしたト

イ状の滝。「流しそうめん

にしたら良い所じゃないか。」などと話す。

ここまでは両岸

がV字状で岩

質であった。

ここより少し

下るとF3 6

mとF2 6m

が現われる。F3は直瀑で、左岸をヤマブドウの



西川(作図)